



みどりの里

を目指す子供像 うんとかんがえる子 なかよくする子 つよいからだの子 きれいなこころの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山 205 番地 1
TEL (0765) 65-2288 FAX (0765) 65-2800

U R L <http://www.tym.ed.jp/sc13/>
E-mail unazuki-es@tym.ed.jp

人権とは そして、だれもが大切にされる社会に

校長 四杉 昭康

7月10日(火)、全校児童を対象に、人権教室を開催しました。これは、魚津人権擁護委員協議会黒部地区委員会からの依頼を受け、最近は市内小学校の持ち回りで開催しているものです(中学校では「人権集会」として開催しています)。今回は、来校された人権擁護委員の方々が中心となって、子供たちに人権に関する話や紙芝居等を紹介されました。

初めに、人権擁護委員の方からの「人権とは、少し難しい言葉かもしれませんが、だれもがもっている幸運になる権利なのです。一人一人が大切にされなければならないので、決して人を傷つけてはいけないのです」という説明を、子供たちは真剣に受け止めていました。

人権擁護委員であり、「くろべ工房」「あいもと里山工房」管理者（社会福祉法人くろべ福祉会理事長）である永井出さんからは、くろべ工房の利用者（障害のある方）と職員との心の交流を通した日常生活の様子が紹介されました。一人一人の障害はすべて異なっており、障害の程度に応じた介護支援、就労支援が行われていることを話や映像を通して教えてくださいました。就労支援を受けている利用者が、生き生きと仕事に向かい、生活のための給料を得ている様子も紹介されました。くろべ工房では、パンの製造や販売、黒部市役所食堂での調理作業等の運営も行っており、社会の一員として熱心に仕事に従事する利用者の様子を見て、子供たちは思いを新たにしていました。また、企業等から委託を受け作業している映像では、永井さんから「仕事の内容は、障害の程度に応じて決めているのですが、例えばポスター等を袋詰めする作業では、1つ袋詰めすると○円の給料がもらえるのですよ」と教えていただくと、子供たちはとても興味深そうに聞き入っていました。永井さんのお話は、子供たちにとって、障害や障害のある人を理解するための素晴らしい教材となりました。

人権に関する紙芝居「ぼくのきもち きみのきもち」では、主人公であるいじめっ子の「ブル太郎」と、いじめられっ子の「シバ夫」との身体を入れ替わってしまうことで、互いの気持ちに気付き理解し合う姿が描かれていました。人権擁護委員の皆さんとの迫真の演技（読み聞かせ）もあり、子供たちは相手の気持ちを考えて行動することの大切さを感じていました。



人権擁護委員による紙芝居

終わりに、児童から「障害のある人も、障害のない人と同じように一生懸命に働いて生活していることが分かりました」「いろいろな障害のある人がいて、それぞれに頑張っていることが分かって勉強になりました」「友達をいじめるのは絶対にいけないことだと思いました」などの感想が聞かれました。

今回の人権教室を通して、人権や人権を大切にすることの意味を一人一人が感じ取ってくれたものと思います。最後に、人権が大切にされる社会を願って公益財団法人「人権擁護協力会」の転載許可を得て、「種をまこう」の詩を紹介します。

種をま「」種をま「」
「」中に種をま「」
わたしの「」あなたが「」種をま「」
みんなの「」種をま「」
生まれたばかりの「」
「人権」という名の種をま「」
そして「」
「思いやり」という名の水と
「愛」という名の栄養を
たっぷりたっぷり
そぞいであげよう

みんなの「笑顔」という名の
陽をあびて
きっと芽が出る 花が咲く
やがて
大きな 幸せの 実がなる

1学期最後の学習参観・懇談会にご参加ありがとうございました。

6月29日（金）に1学期最後の学習参観・懇談会を開催したところ、多数の保護者の皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。希望を胸に進級した4月から約3か月が経ち、それぞれに成長の様子が感じられたことと思います。また、懇談会では、1学期の子供たちの成長の様子とともに、夏休みの安全・安心な生活についても話し合われました。いよいよ迎える夏休みが充実したものとなるように、家庭と連携して進めていきたいと思います。



1年 国語「くちばしクイズ」



2年 生活「町たんけんほうこく会」



3年1組 算数「あまりのあるわり算」



3年2組 算数「計算のくふう」



4年1組 算数「いろいろな四角形」



4年2組 国語「いろいろな意味を持つ言葉」



5年合同 総合「宿泊學習ほうこく会」



6年1組 家庭「暑い季節を快適に」



6年2組 算数「立体の体積」

星に願いを……「もっとなかよくなろう七夕集会」より

6月25日（月）七夕にちなんだ児童集会を行いました。寸劇や願いごとの発表、七夕すごろくを使ったゲーム等を通して、全校児童の交流を深めました。どうぞみんなの願いがかないますように……。



織り姫と彦星の楽しい寸劇



願いごとの発表



七夕すごろくゲーム(縦割りグループ)

自然に親しみ、仲間との絆を深めて……6年生宿泊学習より

7月4日～5日、6年生が国立立山青少年自然の家で1泊2日の宿泊学習を行いました。1日目の午前は、立山博物館まんだら遊園を散策し、立山信仰等の歴史について学習しました。午後からは青少年自然の家周辺での「ポイント探し」を行い、6つの班に分かれて得点と時間を競い合いました。夜は、雨のためキャンドルサービスに変更しました。ろうそくの灯りの下で厳かに、そして出し物の発表を通して楽しい一時を過ごすことができました。2日目は、マイフォーク作りとピザ作りに挑戦しました。それが作ったマイフォークで食べるジューシーなピザは格別な味がしたことでしょう。昨年までの経験を生かし、規律ある集団生活を実践し、仲間との絆を深めることができました。小学校生活の思い出がまた一つ増えました。

ポイント探しでは、はじめは地図の読み方が分からなかったけど、少しずつ分かってきました。仲間が「ここに目印があるよ」「ここに木の根っこがあるから気を付けて」と言ってくれたので、頑張ることができました。みんなと励まし合って見つけることができてよかったです。(6年男子)

昨年のように、時間に遅れたり、集まる場所が分からなくなったりすることがほとんどありませんでした。自分自身でしおりを見て行動すること、時間を管理することの大切さを学びました。特に自分が成長したことは、他の学校の人たちにきちんと挨拶ができるようになったことです。(6年女子)

野外炊事では、かまど係をしました。火の調整は難しかったけど、だんだん同じ火力で燃やし続けることができるようになりました。牛乳パックに火を付けると火が長持ちすることを知ったので、バーベキューで生かしたいと思います。イースト菌を入れた生地がよくふくらみ、驚きました。(6年男子)

タマネギを切ると目にしみて涙が出てきたので、友達と交代して調理をしました。ピザの生地が少し焦げてしまったけど、具はとてもよい具合に焼けていて、とてもおいしく食べることができました。自分で作ったマイフォークで食べたこともおいしかった理由だと思います。(6年女子)



ポイント探し（来拝キャンプ場）



キャンドルサービスでの一コマ



「おいしいピザをいただきます！」

むし歯を予防しよう！……歯科衛生士さんによる歯科指導より

7月11日（水）、2年生が松木歯科衛生士さんからむし歯予防のための歯科指導を受けました。2年生は前歯が永久歯に生え替わる時期を迎えています。むし歯ができる仕組みやむし歯になりやすいおやつ、なりにくいおやつ等について理解を深めました。また、上下2本の前歯を中心に染め出し等による実技を通して、子供たちは自分の歯（並び）に合った歯みがきを工夫してむし歯を予防しようと関心を高めしていました。



「どうしてむし歯になるのか知っていますか？」



染め出でみがき残しが真っ赤に！



きれいにみがきたいな

尊い命を守るために……PTA 心肺蘇生法(AED)講習会より

7月6日(金)、7日(土)、8日(日)の3日間、保護者の皆様には90分間の心肺蘇生法講習にご参加いただきありがとうございました。人工呼吸や胸骨圧迫(心臓マッサージ)の方法、AEDの基本的な使い方等について、学ばれたことだと思います。時間が過ぎても質問が絶えず、「肋骨が折れてしまったら、どうしたらよいですか? (構わず心臓マッサージを続ける)」「応援者がいなくて、自分一人の場合は何を優先しますか? (救急車を呼んでから、胸骨圧迫に取りかかる)」「小児用パッドを用いるのは何歳くらいまで? (未就学児まで。小学生以上は大人用パッドで)」など、関心の高さがうかがえました。事故が起きないことが何よりですが、万一事故に遭遇したとき尊い命を救うことができればと思います。



消防署員による指導



胸骨圧迫のテンポは……



指2本であごを少し持ち上げて

その他の学校生活から



火災（理科室から出火）を想定した避難訓練



4年 社会 上下水道の見学

ちょっと一言……素直な気持ちを大切に

つい先日のことです。学校のグラウンドでだれかが花火をしたのでしょうか。ところが、後片付けもせず、大量の燃えたゴミがそのまま放置してあったそうです。それはとても残念なことだったのですが、5年生と2年生の子供たち数人が、その異変(!?)に気付き、自分たちで進んで袋にゴミを入れ片付けたことを話してくれました。それは「自分たちの学校がきれいなままであってほしい」という一念で表れた行動だったのだと思います。「自分たちで片付けよう」とよく決心したものだと感心しました。その話が生徒指導担当から全校児童に伝えられてから間もなく、「〇〇公園にたくさんのゴミが落ちていたので、遊んでいたみんなで片付けました」という話が、二度三度と聞かれるようになりました。善い行いが広がることは本当に嬉しいものです。

毎朝の挨拶運動では、1年生が目当てカードを持って外に出て、登校してくる上学年にも元気に挨拶をしています。「ねえ、校長先生。ぼくね、もうカード3枚目なんだよ。見てこのカード、頑張っているでしょ」と素直に語りかけてくれます。

少しずつ少しずつ、大切なものが育まれている手応えを感じる今日この頃です。(校長)



元気な1年生の挨拶